

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

(別添様式2)

公表日: 2023年 2月2日

事業所名: 児童デイサービスさくら稲美

サービス種類: 放課後等デイサービス

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	設置基準を満たしており、学習支援や余暇支援のいずれも手狭に感じることなく取り組んでいる	はい:15 どちらともいえない:4 わからない:1	現状を継続する
	2 職員の適切な配置	人員基準を満たして配置している	はい:16 どちらともいえない:1 わからない:3	現状を継続する
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	構造化を行いながらもこだわりの強化を避ける為、ロッカーなどを利用日ごとに変更している	はい:16 どちらともいえない:3 わからない:1	現状を継続する
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	毎日の清掃、消毒、換気を都度行っている	はい:19 どちらともいえない:1	現状を継続する
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	業務分担や日々のミーティングを行い情報共有を図っている		現状を継続する
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	現在実施はしていない		今後検討する
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	月ごとにテーマを決め事業所内での研修を行っている		可能な範囲での外部研修の機会を設けたい
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	保護者のみならず、職員からの情報も聞き取りを行い作成している	設問1より はい:19 どちらともいえない:1	現状を継続する
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	実施できている	設問2より はい:18 どちらともいえない:2	現状を継続する
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	実施できている		現状を継続する

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	実施できている	設問3より はい:18 どちらともいえない:2	現状を継続する
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	日常的に意見交換を行い、活動内容についての見直しを行っている		現状を継続する
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	タイミングをみて外出機会を設けたり、室内でのイベントの企画を行っている	設問4より はい:18 どちらともいえない:1 わからない:1	社会体験の機会を活動内容を工夫していきたい
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	固定化が必要な面は継続し、集団活動や季節行事では新しい活動を取り入れている		現状を継続する
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	職員が揃った際にミーティングをし、内容の確認を行っている		現状を継続する
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	送迎終了後に、送迎時のやり取りを含めた情報共有を図っている		現状を継続する
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	業務日報への記録を行っている		現状を継続する
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	モニタリング時や日々の保護者との聞き取りを元に見直しを行う		現状を継続する
1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	相談があれば参加している 必要に応じて事業所を会場とすることもある		現状を継続する	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
関係機関との連携	2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	該当者なし		
	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	該当者なし		
	4 児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	拡大ケース会議への参加により、情報共有を行う		現状を継続する
	5 放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	電話や文面にて情報提供を行っている 卒業後も事業所へ招待し、行事への参加や現状の相談を受ける		現状を継続する
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	調整が困難なこともあり、最低限での受講に留まる		可能であれば、研修の受講を目指したい
	7 児童等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	実施していない	はい:4 どちらともいえない:3 いいえ:5 わからない:8	今後要望があれば検討する
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	実施していない		地域行事への参加は引き続き行っていきたい
	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	契約時に加え、必要に応じてその都度説明を行っている	はい:18 どちらともいえない:2	現状を継続する
2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	実施できている	はい:18 いいえ:2	現状を継続する	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
保護者への説明責任・連携支援	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	集団では行えていない	はい:11 どちらともいえない:3 いいえ:4 わからない:2	状況次第ではあるが、今後要望があれば検討する
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	送迎時や連絡ノート、LINEを活用しやりとりを行っている	はい:17 どちらともいえない:3	現状を継続する
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	必要に応じて対応し、相談や助言を行う	はい:17 どちらともいえない:2 いいえ:1	現状を継続する
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	実施していない	どちらともいえない:2 いいえ:10 わからない:8	今後要望があれば開催の検討をする
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	可能な要望に対しては対応を行い、苦情が出た際には迅速に対応し、早期解決を目指している	はい:15 どちらともいえない:2 わからない:3	職員間での情報共有をし、再発防止に努める
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	筆談やマカトンサインを用いる等、非言語による意思疎通を試みている	はい:18 どちらともいえない:2	現状を継続する
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	通信の配布に配布に加え、ホームページを更新し報告等を行っている	はい:19 わからない:1	現状を継続する
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	施錠保管し、取り扱いについては契約時に書面にて同意を頂いている	はい:19 わからない:1	現状を継続する
	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	警報時や感染予防についての対応マニュアルを口頭で説明し配布済み	はい:18 どちらともいえない:2	今後も変更などがあれば、その都度周知を行う
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	3か月に1度様々な場面を想定した避難訓練を実施している	はい:17 いいえ:1 わからない:2	現状を継続する

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	福祉事業所研修会に参加し、虐待防止について受講 その後、事業所内でも虐待防止について研修を行う		現状を継続する
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明し、了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	該当者なし		
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	該当者なし		
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	事業所内で情報を共有し、会議を行い対応策について検討を行う		今後も職員間による情報共有の徹底、再発防止に努める